

農林水産業従事者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	R3夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①防災行政無線(1)	防災行政無線がデジタル化され、外にいる時は良く聞こえるようになったが、家の中にいる時の聞こえ方は改善されていない。	防災行政無線はデジタル化に伴い、市内すべての設備を更新しました。電波の伝わる範囲を調査し、出力やスピーカーの角度を調整して市内全域に聞こえるように整備したところですが、大雨が降っている時や空調が稼働している時などには家の中では聞こえにくいということはあるかと思えます。聞こえにくい場合は、防災ラジオを購入して受信していただくほか、内容を市HPやメール配信サービス、電話応答サービス(475-5050)でも確認できますのでご利用ください。
②防災行政無線(2)	家の中ではアナログの防災ラジオで防災行政無線を聞いているのだが、アナログ波だとやはり天候などの環境に左右されて聞こえにくい。デジタル化した小型の受信機を、アナログの防災ラジオと同じく2千円くらいの自己負担で配布できないか。	現時点ではデジタルの戸別受信機の配布は考えておりません。アナログの防災ラジオは1台1万円強ですが、デジタルのものは1台3~5万円程度と高額です。今後、デジタルの戸別受信機が広く普及し、安価になれば対応したいと考えています。
③火災時のサイレン	火災が発生した時にサイレンは鳴らないのか。先日の火災では発生現場の近くにいたが、サイレンが鳴らなかったため、翌日になって火災があったことを知った。少なくとも橋場から魚津市側では何も聞こえなかったという声が多かった。	先日の火災発生時にはサイレンを鳴らし、市内44箇所ある子局と連動してサイレンを吹鳴したところですが、サイレンが鳴らなかったという話は今はじめて聞いたので、念のため署でも確認します。橋場周辺に最も近い子局は市役所となり、市役所のスピーカーから火災時においても吹鳴したところですが、特に火災現場周辺では周囲の音でサイレン音がかき消され、聞こえなかった可能性があります。今後も毎日正午のチャイムを始め、随時流す行政情報も確実に伝わるよう努めるほか、市内各子局の位置等も機会をとらえて周知してまいりたいと思います。
④一方通行の表示	橋場の一方通行が分かりにくい。元々、お盆や正月などに逆走する車があって危ない場所だったが、瀬羽町にスイーツの店ができたことで土日などに市外から来る車が増えている。標識などで対策できないか。	警察署と協議の上、現地を確認して対応を検討します。
⑤新型コロナワクチンの電話予約(1)	40歳以下のワクチン予約が今日から始まった。人から頼まれて、予約開始時刻である朝9時から電話をかけたが全く繋がらなかった。電話は1本しかないのか。もう少しスムーズに繋がるようにしてほしい。	7月12日は申し込み初日ということで、電話が大変繋がりにくくなっており、大変ご迷惑をおかけしました。新型コロナワクチンについては、予約開始初日の午前中は大変混み合いますが、初日の午後から2日目頃にかけて混雑が落ち着いてくる傾向にあります。少しでも皆様スムーズに申し込んでいただけるように2回線増設し、受付人数も増やして対応しているほか、Web予約も開始しました。Web予約についてはご自分での手続きが難しい場合は、市民健康センターで代行もしていますので、並行してご利用ください。
⑥新型コロナワクチンの電話予約(2)	新型コロナワクチンの予約のために電話をかけたところ、自動音声で「時間をおいてお掛け直してください。又はこのままお待ちください」とアナウンスが流れたが、待てばよいのか一度電話を切って掛け直せばよいのか分からなかった。待っていればいずれ繋がるのであれば、「このままお待ちください。又は時間をおいてお掛け直してください」の方が良いと思う。	アナウンスについては検討します。

農林水産業従事者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	R3夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑦交差点の混雑	<p>明文堂書店からPLANT-3に上がる道は交通量が増えている。途中の沖田新の交差点で右折しようとする、直進車の通行を待たなければならないため、右折車の後続車両が進めない。改善方法はないか。</p>	<p>現地を確認して、どのような対策がとれるか検討します。</p>
⑧用水路の補修	<p>無雪害設備part2という事業であいの風とやま鉄道付近の農業用水路が整備された。開渠にしてほしいと言っていたのだが、市は自由勾配側溝にした。整備した翌年に田んぼに水が溢れたので、工事の全面的なやり直しを要望したが聞き入れてもらえなかった。市はV字に詰めるなどの対応で補修したが、10年も経たないうちに同じ状態になった。米の生産量が3分の1に減ったので市で補償してほしい。</p>	<p>この件については、これまでもお話をしてきたことだと思います。側溝の補修については令和元年度、2年度にも対応しています。農業用水路と米の生産量の因果関係が不明のため、補償については対応できません。</p>